

東大本『源氏物語』と新たな本文研究プラットフォーム

令和元年十一月二十九日

学術資産アーカイブ化推進室セミナー

「東京大学デジタル万華鏡」

田村 隆 (総合文化研究科)

一 東京大学総合図書館所蔵『源氏物語』

室町末期頃写本五十四冊 **青洲文庫** (渡邊信 (号青洲、一八四〇〜一九一一) 旧蔵)
(請求記号 A〇〇―六五八七、旧請求記号 E二二―四八、登記番号 B七八七四)
青洲文庫は甲州市川大門の素封家渡邊信 (号は青洲。一八四〇―一九一一年) が設けた文庫で、壽 (一八〇三―一八七五)・信・澤次郎 (一八七〇―一九四二) の三代にわたって蒐められたコレクションを、関東大震災で蔵書の大半を失った東京帝国大学が大正十三 (一九二四) 年七月十四日に購入。約三万冊。
大半の巻は**青表紙本**系の本文だが、**河内本**系や**別本**の巻を含む混態本。
令和元年六月三日、画像データベース公開 (二〇一八年度東京大学デジタルアーカイブズ構築事業、<https://iir.dl.ic.u-tokyo.ac.jp/repo/s/genji/page/home>)
「駒場祭古典ラボ」(十一月二十二〜二十四日、駒場祭のテーマは「七変華」)におけるパネル・デジタル展示、およびギャラリートーク。
拙稿「龍眼木・水衝石・蘭」『むらさき』第五十六輯、二〇一九年十二月。

二 裏源氏プロジェクト I I I F 画像の積極的活用

東大本の画像公開 (全巻公開中) という基本的役割に加え、冒頭の桐壺巻について、古活字版・無跋無刊記整版本 (九州大学附属図書館公開) の画像、『校異源氏物語』(後に『源氏物語大成』校異篇) のテキストデータ、同書および **JapanKnowledge** 所収『新編日本古典文学全集』の画像、頁数による検索機能、与謝野晶子訳 (青空文庫)、テキストと現代語訳の対応箇所ハイライト機能を収載。『源氏物語』の新たな本文研究プラットフォームの構築を目指す。試行版として、「デジタル源氏物語 Ver.KIRITSUBO 源氏物語本文研究プラットフォームを指して」を公開する。

「デジタル源氏物語 Ver.KIRITSUBO」メニュー

- ・画像とテキストを一緒にみる
- ・(東大本・九大本二種・『校異』画像・『校異』テキスト・与謝野晶子訳)
- ・頁数でさがす
- ・(校異源氏物語・新編日本古典文学全集)
- ・その他 I I I F 対応源氏物語リスト
- ・このサイトについて

三 東大本桐壺卷(青表紙本)の本文 * 「デジタル源氏物語」の利用

朝夕の宮つかへにつけても人の心をうこかしうらみをおふつもりにやありけむいとあ
つしくなりゆき「4コマ、校異5、新編全集17」

は、宮内のひとつきさいはらになむおはしければいつかたにつけても物あさやかな
るに「29コマ、校異26、新編全集48」

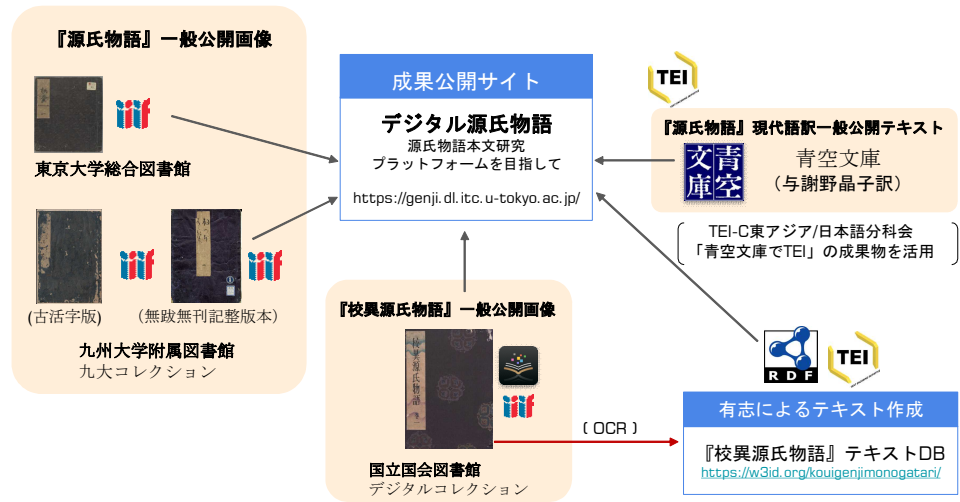
今はなき人とひたふるにおもひなりなむとさかしうの給つれと車よりおちぬへうまと
ひたまへは「10コマ、校異10、新編全集25」

おきな心地にもはかなき花もみちにつけても心さしを見たてまつりこようなう心よ
せきこえ給へれば「26コマ、校異24、新編全集44」

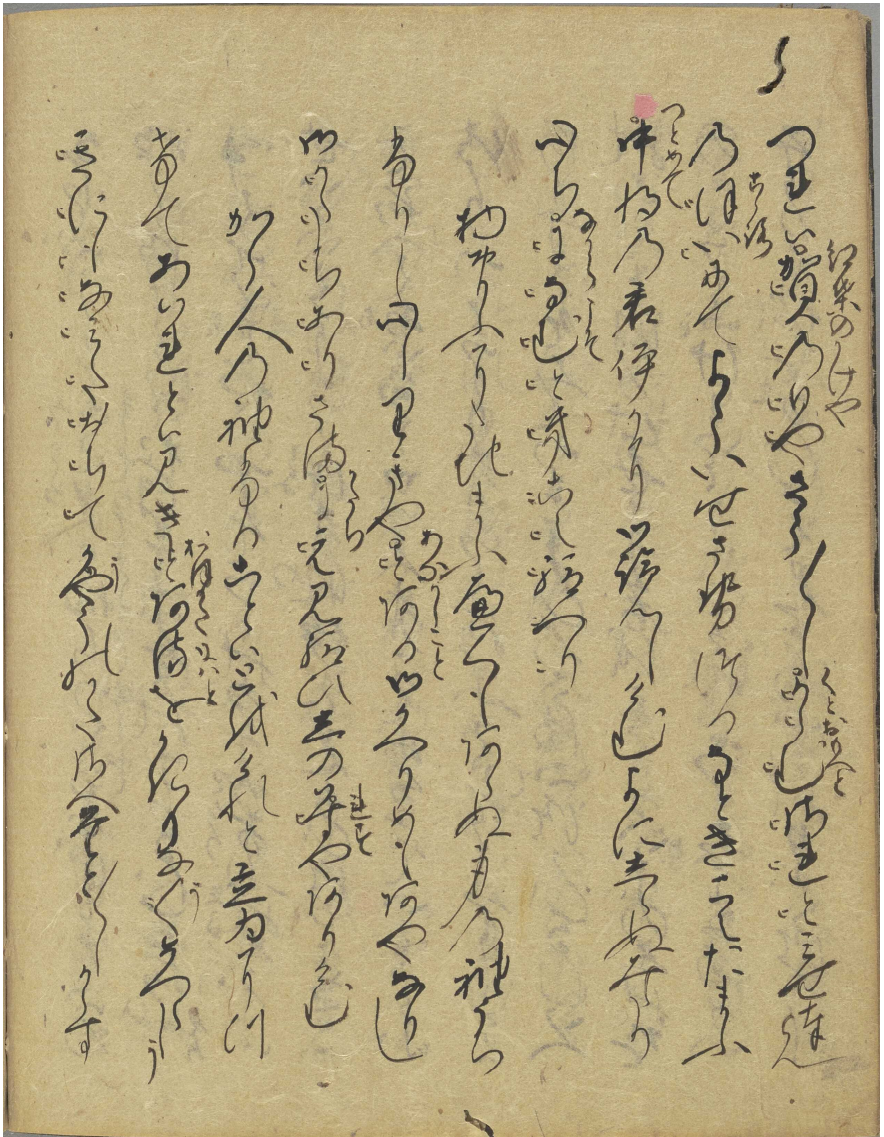
* 「き」に朱書で見消。「さ」を傍記。

いかさまにかとおほしめしまとはりて。くるまのせんしなどのたまはせても又しら
せ給てはさらにえゆるさせ給はず「8コマ、校異8、新編全集22」

* 「り」に「ヒ」と見消、「る」を傍記。「て」の後に朱の句点。「車／輦車」
[車／輦車]



四 東大本紅葉賀巻(河内本)の本文 *データベースのトップ画面



賀の日やさうくしからむされとみせ奉らんのほいにてよういせさせつるなどきこえ
たまふ「6コマ、校異238、新編全集三二三」【河】

*訂正後「紅葉のかけやさうくしくとおもへとみせ奉らんのことろにて」【青】

*校異「賀の日やさうくしからむされと」河【河】

*校異「ほいにて」河【河】

いかに御覧しけむよにしらぬみたり心ちになむときこえ給へり「6コマ、校異238、
新編全集三二三」【河】

*訂正後「みたり心ちなからこそ」【青】

*校異「みたり心地なからこそなときこえ給へり」河【河】・御【別】

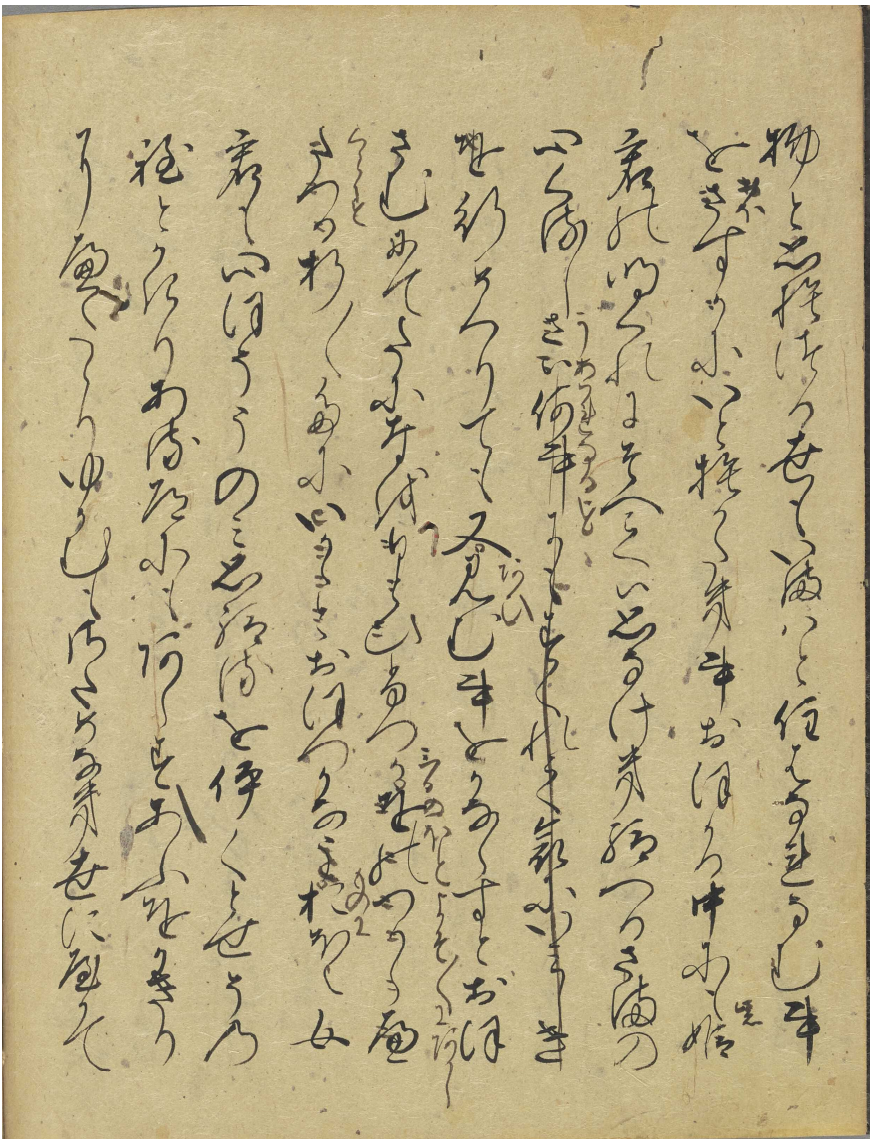
とあるをかきりなくめつらしきにもなみたおちて「6コマ、校異238、新編全集三二
三」【河】

*訂正後「おほかたにはとあるをかきりなうめつらしう」【青】

*校異「大かたにはナシ」河【河】

*校異「めつらしきにもなみたおちて」河【河】

五 東大本須磨巻(別本)の本文



明くれにそへては思なけき給へるさまの心くるしきは何事にもすくれて哀にいみしきを「4コマ、校異395、新編全集一六一」【別】

*訂正後「心くるしうあはれなるを」【青】

*校異「心くるしけさは何事にもすくれてあはれにいみしきを」陽【別】

なをひとひふつかをのつからへたつる折くたにいかとのおほつかなきおほえ「4コマ、校異395、新編全集一六一」【別】

*訂正後「なをふつか三日のほとよそくにあかしくらす折くたにおほつかなきものにおほえ」【青】

*校異「二三日」七・宮・尾・平【河】

*校異「おのつから」陽【別】

*校異「へたつる」別【別】

*校異「いかとのみおほつかなく」陽【別】

- ↓活字による校本では書入等は表現しにくい。『校異』には各系統の「善本」を収録。
- ・『校異』未収録の伝本についても画像を追加し、『校異』を補完。頁番号の検索機能。
- ・諸本画像比較による、開かれた(追記可能な)成長型デジタル『源氏物語』校本へ。

六 比較のすすめ【web掲載版】

『万葉集』 古活字版

無訓本（東京大学総合図書館所蔵）と附訓本（早稲田大学図書館所蔵）

『源氏物語』

寛永古活字版第二種の「惟光」

大東急記念文庫本と広島県立歴史博物館本

『栄花物語』

古活字版と明暦二年版（共に九州大学所蔵）

『伊勢物語』挿絵

嵯峨本第二種本（東京大学総合図書館所蔵）と覆刻整版本（国文学研究資料館鉄心斎文庫所蔵）